

地方 通信



北海道地方

北海道の道路事業の資 源開發の建設

北海道十四年度の拓殖費支辨にかゝる土木事業中道路費に屬する分を擧ぐれば左の如し

- (一) 新設及改良測量、美唄町道外二十一ヶ所
- (二) 道路新設工事新、冠村道外七ヶ所
- (三) 道路改良工事、豊浦村道外十九ヶ所
- (四) 橋梁架換工事、十勝川、天鹽川、網走

川、湧別川、後志利別川、渚滑川、以上總

工費二百六十二萬千八百二十二圓

特殊橋梁工事

(繼續事業) 河西橋、工費十九萬四千圓、治水工事(繼續事業) 石狩川、釧路川

東北地方

青森縣の功績者表彰

皇紀二千五百九十九年、皇運の無窮を壽ぎ建國の大精神を高揚する、十一日の紀元節に當り、縣では午前九時から小河知事以下全職員が縣會議事堂に集まり、嚴肅な奉拜式を舉行、終つて御下賜金傳達並びに各種功勞者の表彰式を行ふた。晴れの表彰を

受くるものは地方自治、軍事、産業、教育、警察等の功勞者及び優良組合團體で、今年からは銃後後援功勞者及び軍用馬鍛鍋團體も表彰の列に加へられ、聖戰三年目の時局色を漂はしてゐる。表彰者の中道路功績者は左の通である。

道路改良會表彰者

東津輕郡西平内村道路愛護團

青森縣黒石土木出張所 高木 豊吉

青森縣音森土木出張所 川原田 實

縣知事の表彰者は左の二名である。

優良修路工夫 關 作之丞氏

優良修路工夫 川原田 實氏

岩手縣の功績者表彰

東亜の新秩序建設の聖戰下に迎へる第二回目の紀元節——戰線將兵の銃後國民の感激は如何ばかり……肇國の大業を仰いで長期建設への決意を愈固くする今日の佳節に當り、縣では縣治に、德行に、納税に、社會事業に盡瘁して幾多の功績を擧げた人々

を表彰する。午前九時縣正廳で高等官待遇者の拜賀式を舉行、次いで判任官、日赤縣支部愛婦の拜賀式が行はれ、十時半から縣公會堂で晴れの表彰式が舉げらる。被表彰者の事蹟は何れも銃後國民の範とすべき輝かしいものばかりである。晴れの表彰をうける團體並に榮譽の人々の内、道路保護功績者は左の通

- 紫波郡徳田村道路保護組合
- 江刺郡福岡村道路保護組合
- 江刺郡梁川村道路保護組合
- 上閉伊郡鱒澤村道路保護組合

山形縣下の跨線橋の計劃

産業に文化に益緊密の度を加へて來た庄内の兩都市、鶴岡、酒田を結ぶ國道第十號線は、兩羽、蛾眉兩橋のモダン橋架換へと兩橋の前後における道路改修を終つて本年度は愈最後の改修工區とも云ふべき蛾眉橋、鶴岡間の改修工事が行はれる筈だが、

地方通信

鶴岡市道形の「道形鐵道踏切」は鐵筋コンクリートによる堂々たる跨線橋として、文化都市並みにモダン化され北方玄關口を堅めることになつた。

なほ車馬による鶴岡市の玄關口は、昨年中既に櫛引街道の南町並に大山街道の大海町方面が完成し、靈峰出羽三山を控へた手向口も赤川の「菅原橋」が十二年度災害復舊費と十三年度東北振興割當費合せて總工費十八萬圓で舊臘着工、大體明年の季節前までに最新式ゲルバー式鐵筋コンクリートによる幅員五メートル五〇、延長三百メートル、現在より二メートルも擴張された堂々たるモダン橋として出現、登山道路に光彩と利便を添へることになつてゐるから、酒田街道の改修と俟つて、御城下の街舊都鶴岡は面目を一新すべく期待されるに至つた。

關東地方

茨城縣瀧川橋成る

茨城縣々北の名勝四度の瀧（日本二十五勝）を背景とし、滾々と湧き出る新しい温泉郷を抱擁する、この袋田の溪谷は幽邃な仙郷として近頃都人士の間にも相當知られて來た。その四十丈の大瀧より落つる清冽な流れは所謂瀧川となりて、府縣道大子太田線を切斷する。この邊は一體に岩磐で拱橋としては絶好の地點であり、風致を添ふる上からもこの型式が望まれた。本橋は長二七〇米、拱矢四、五米有効巾員五、五米工費一、〇〇〇圓、起工は昨年四月で六月末のあの茨城水害の餘波を受けて、型枠支保工全部流失、重ねて八月末には再び大被害を蒙つて工期の二倍を要しこの程完成した苦勞の橋梁である。（池内技師）

茨城縣道功績者の表彰

略 二月四日付を以て傳達方御依頼有之候道路常工夫高島喜衛門、瀨原定一に對す

一五九

る表彰功績章並賞杯夫々紀元節佳辰を卜し、傳達致候申す迄もなく此種表彰は本人をして榮譽を永遠に記念せしめ此道に精進せしむるは勿論深く斯道の獎勵と相成るべくと存候草々（瀧川道路主事）

群馬縣の道路功績者表

彰の感謝

略 陳者今般本縣修路工夫の表彰に際しては特別なる御詮議を忝ふし茲に謹んで奉感謝候表彰式は昨十一日の佳辰を卜し盛大裡に終了仕候被表彰者の感激はもとより將來斯の職に従事する者に對しても寔に嘉すべき御事と併て深甚なる感謝を表し候草々（熊田土木課長）

神奈川縣相模原開發の

根幹新路の計畫成る

神奈川縣では相模原一帯を京濱方面と密接に結び付ける幹線道路として横濱中野、神奈川日野兩線の改修を計畫してゐる。此

兩線は軍都建設後の將來は勿論のこと、現在刻々に開けゆく同地方における軍公衛、工場並びにこれに附隨する職員職工の住宅地帯の物資材が横濱川崎方面との交通不便のためその大部分が東京八王子方面から流入してゐるといふ有様にあるので、之れが防遏といふ點からも一日も忽せに出来ない重要性を持つてゐる。

神奈川日野線

神奈川區六角橋を起點に日野を經由、原町田に通ずるもので鶴見神奈川方面を結ぶものとして重要なものだが横濱市當局と未だ十分な協議が行はれてゐないので、縣では目下の所次の横濱中野線の完成促進に重點をおいてゐる。

横濱中野線

保土ヶ谷區の市分界を起點として大和村下鶴間―大野村山野（原町田附近）―相原村橋本を経て中野町に至るものだが、前記大野村山野で厚木調布線と交叉して相原村橋本に至る十キロ五〇（輻員九メートル）は工

費七十七萬圓を投じ軍需産業道路として企案したことは前述の通り、そこで市分界から山野まで十五キロ間の改修につき目下案中だが、従來は一旦東京府に入り再び大野村下鶴間で縣内に入る計畫であつたのを今度は府縣界に近く接したまふ縣内を通ずる事とした點に縣當局が如何に力癪を入れたか、如實に現はれてゐる。工事費は百七十萬圓で、輻員は九十一メートルといふ立派なものとなるはずである。

北陸地方

石川縣に於ける小林道の獎勵

石川縣では事變下木材木炭などの森林資源の維持確保を計り、林業の振興に資するため林道開設に對しては従來國庫補助をなしてゐたが、更に縣では國庫補助該當制限外的小林道開設にあたり獎勵資金を交付す

ることになった。すなはち縣下市町村あるひは森林組合において五十町歩以上の利用區域林野を有する幅員一・五メートル乃至二・七メートル延長五百メートル乃至二千米メートルの牛馬道、あるひは車道などの小林道を開設増設または改修する場合、當局ではその工費の三分の一を奨励金として交付するもので、林業振興の叫ばれてゐる折柄待望されてゐる。

東海地方

愛知縣半田市船方橋成る

愛知縣下半田市では昭和十年二月に起工し途中設計を變更したり、出来上つた橋脚を取除いたり苦心した半田市最長のモダン橋船方橋は工費二萬三千圓でやつとこのほど竣工。この橋は丁字型鐵筋コンクリート桁橋で長さ五五・七メートル、幅員七・一メ

地方通信

ートルで川のない半田市としては港灣に臨んだ最長の橋で、これが完成によつて山方新田と荒古方面の交通は非常に便利になるわけである。

近畿地方

京都府下保津大橋完成

近し

京都府内丹波 隨一といはれる豪華な保津川畔ノ保津大橋はこのほど全工程の九分通りを完成、關係地方民の歡呼をあげていよ／＼三月初旬までには竣工の運びとなつた。総工費約十萬圓を投じた近代的橋線美を誇るもので、設計も特に風致保存にたいする細心の考慮が拂はれてゐるといはれ、保津の清流に加へる新異彩は期して待つべきものがある。戦線の勇士から寄せられる激勵の嵐に、新装の姿を一日も早く郷土勇士に見せたいと嬉しい感激を沸き立た

中國地方

島根縣下縣道の一部完備す

島根縣にては昨年六月以來工費一萬四百餘圓を以て工事中の一期線府縣道津和野江崎線鹿足郡畑追村地内延長三百八十メートル幅員五メートル、五〇はこのほど完成した。

四國地方

高知縣下急流の物部川

下ノ橋竣工す

高知赤岡間の最短距離たる吾臺山、下田經由線路は、昭和十年の災宮により三島村久枝吉川村を繋ぐ物部川下の橋の流失によ

り著るしく交通を阻害されて来たが、同橋もその後國庫補助を仰ぎ、昭和十二年七月十六日工費四萬三千圓を投じ漸く起工更に

昨年七月大洪水のため災害を蒙りたるも、その後漸次進捗し本年三月末日までに愈よ竣工する事となつた。同橋は長さ百二十米、

幅員四・五〇米、ゲルバー式鐵筋コンクリートの最新式のものにて、縣下においては安藝郡栃ノ木橋と只二ヶ所のみのである。

會員各位に謹告

曩に水野鍊太郎先生古稀祝賀の際、記念出版されました「論策と隨筆」菊判九二八頁美裝寫眞入は、當時御賛助を願つた方々に、記念として御頒ち致しましたが、本書は國家の重臣であらせらるゝ先生の該博なる識見と豊富なる經綸とに加ふるに、明瞭謹嚴なる私生活の半面を敘述し明治、大正、昭和の三代に渉る政界の裏面史とも申すべき、貴重な文獻として朝野の好評を博して居るので、此の度各關係團體の會員に限り、左記の實費にて頒布の御希望に應ずることゝ致しました、餘部も多く有りませんから、お早く御申込の程を願ひます。

實費 壹部送料共 金 參圓也

麴町區内幸町東拓ビル

大日本昭和聯盟本部内

水野鍊太郎先生古稀祝賀會

(振替口座東京二九、九五八番)